



勇気づけ？勇気くじき？

1年間を振り返ってみて、一番印象に残っているのは、どんなことでしょうか？

私は、50周年記念講演、植松努さんの「思うは招く」です。考えさせられる言葉がたくさんありました。一番考えさせられたのは「あきらめた人間が、あきらめ方を教える」です。

私なりの解釈ですが、あきらめた人は勇気がない人です。初めから勇気がない人はいません。しかし、勇気を持って何かをやろうとしたとき、他人から「どうせ無理」という否定的な言葉を向けられればその勇気をくじかれます。そして、他人の勇気をくじくようになります。

勇気をくじく人は困難から逃げ、努力をすることを放棄します。やらない言い訳を探し、誰かに責任を押し付けます。その時は軽くて楽になりますが、逃げた自分をごまかせません。苦しいがゆえに優位に立とうとし、他の人の勇気をくじきます。その連鎖を植松さんは「ゾンビの様に増えていく」と言っていたと思います。

しかし、植松さんの言う「だったらこうしてみたら？」と言える人は、勇気がある人です。そして、誰かを勇気づけられる人です。うまくいってなくてもそれまでの努力と過程を否定せず、対等の関係から相手を認め、主体性を引き出します。Well Being でいえば、他の人の「やってみよう」因子と「何とかなる」因子を高めることができる人ともいえるでしょう。なお、人の勇気をくじく行動、言動は無意識にしている人が多いそうです。そして、人を勇気づける行動は、意識しないとできないとも言われます。

東秩父中学校開校以来、誰も経験したことのない少人数。お互いに意識して勇気づけができるようになったらその絆はさらに深まり、素晴らしい学校になるでしょう。私は勇気づけができる人が増えてきたと感じています。次年度が楽しみです。 <修了式 校長の言葉より抜粋>

蒼天ふたたび！

3月14日（土）19名の卒業生が本校を巣立っていきました。当日は卒業した3年生はもちろんですが、1・2年生の式の練習や会場準備、そして当日は、送り出す側としての真剣な姿勢、態度。そのおかげで厳粛な中にも温かい卒業式ができました。改めて感謝いたします。

当日は、会場にサプライズとして2つの大凧が飾られました。一つは3年生が小学校6年生の時に揚げた大凧「蒼天」です。解体されたものが保管してありましたが、卒業生の3名が復元してくれました。また、中学校バージョンの大凧「夢」も急遽作られ、展示されました。凧に書かれた夢と思い出をいつまでも大切にしたいです。





3年生に感謝を込めて ～3年生を送る会～3月4日(水)

3月4日1・2年生が中心となって3年生を送る会が行われました。

思い出のスライドやお世話になった先生方からのビデオレター、1・2年生による3年生との思い出を基にした演劇など短い時間の中で充実した出し物が披露されました。

1・2年生の成長を3年生に見てもらい、とても良い機会になりました。



郷土学習お世話になりました

3月5日(木)3年生が郷土学習を行いました。安戸の山田氏五輪塔群や浄蓮寺では鉢形城の後北条氏からの制札など、普段見られない貴重な資料を見せていただきました。



自分の魅力の伝え方講座

3月11日(水)3年生を対象にパーソナルスタイリストによる自分の魅力の伝え方講座が行われました。自分の肌や髪、目の色に調和するパーソナルカラーを模索したり、服装の色によるイメージの違いなどを体験したりしました。自己理解、自己受容にもつながる貴重な体験ができました。



卒業生優良生徒の表彰

埼玉県教育委員会優秀	1名
埼玉県産業教育振興会	1名
埼玉県体育優良生徒	2名
東秩父村優秀生徒	1名

本年度、大きな事故もなく修了式を迎えられました。保護者の方々、地域の方々に改めて感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。